

観世九臈会

かんぜきゅうこうかい

三月 定例会



令和3年3月14日(日)
於 矢来能楽堂

【第1部】12:30開演(12:00開場)
14:15終演予定

—客席入れ替え—

【第2部】15:00開演(14:30開場)
16:30終演予定

※新型コロナウイルス等の感染防止の観点より、当面の間、公益社団法人能楽協会の「能楽堂における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、ならびに公益社団法人全国公立文化施設協会の「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って公演を開催いたします。

新型コロナウイルスの感染状況や行政機関などによる指示、各種ガイドラインの変更・更新等に伴い、内容に変更がでる場合がございます。最新情報は矢来能楽堂ホームページや公式ツイッターなどでも随時お知らせいたしますので、ご来館時などには必ずご確認くださいませようをお願いいたします。

主催：公益社団法人 観世九臈会



感染予防にご協力をお願いいたします。

◆ ご来場の際のお願い

- 体調不良の方は、当日でもご来場をお控え下さい。
- ご入場の際は必ずマスクを着用ください。
- 入口にて手指のアルコール消毒と検温にご協力下さい。
- 37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。(上記にご協力いただけない方には、ご入場をお断りいたします。)
- 上記にて入場不可となった方へは、ご事情を伺った上で、払い戻しをさせていただきます。チケットを半券ともにご保管の上、ご連絡下さい。

◆ 会場内でのお願いなど

- 喫茶室は閉室しております。会場内でのお食事はご遠慮下さい。
- 場内のウォーターサーバーは、使用停止とさせていただきます。
- 水分補給のためのお飲み物は、ご持参ください。
- ブランケットの貸出は当面いたしません。
- 換気のため、お席によっては空調が強くとどろきがございます。ご自身にて上掛け等をご持参ください。
- 出演者へのご面会、お差し入れは当面の間、ご遠慮ください。
- 矢来能楽堂のお手洗いは数が大変に限られております。なるべくご来場前にお済ませ頂き、ご利用の際は間隔をあけてお並びください。

◆ 上演にあたってなど

- 上演中も、マスクの着用をお願いいたします。
- 舞台上も出演者の感染予防対策を講じた形式での上演とさせていただきます。
- 公演の前後および休憩中には外気を入れ、会場内の換気をいたします。
- 場内換気のため、上演中もロビーとの扉は開けさせていただきます。
- 1部、2部の入替時に館内消毒作業をいたします。
- 1部、2部とも続けてご覧になる方も、一旦退館をお願いいたします。
- 万一、来館者ならびに出演者・スタッフに感染が疑われる者が後日、発生した際は、所轄の保健所へご来場者様情報を提出させていただきます。

このほか、矢来能楽堂ホームページにて、「矢来能楽堂における感染予防措置」をご確認の上ご来場ください。

皆様の健康と安全を第一に考えております。

皆さまにはご不便をおかけすることもございますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

矢来能楽堂・公益社団法人 観世九臈会

全指定席(各部)

正面席 5,500円／脇正面・中正面席 4,400円

学生券(脇正面・中正面) 2,200円 ※学生券は26歳未満(要学生証) 未就学児入場不可

1部2部通しセット(脇正面・中正面のみ) 7,800円

【お申込み・お問合せ】

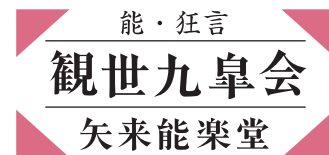
矢来能楽堂・観世九臈会

電話：03-3268-7311

FAX：03-5261-2980

メール：yarai@eos.ocn.ne.jp

http://yarai-nohgakudo.com/



【注意事項】

- 記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。
- 許可のない録音・撮影は一切禁止です。
- 携帯電話は電源からお切りください。
- 演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。場合によっては退場していただく場合がございます。

表紙写真「癒見悪尉」撮影：青木信二

ご注文・問合せ
 (株)能楽書林 九段下駅徒歩すぐ
 電話 03-3264-0846
 FAX 03-3264-0847
 メール shoin@mercury.plala.or.jp

柳沢新治著
 『横からみた能・狂言』
 長年、NHKの能楽放送に携わった著者が著した、現場ならではの「放送うらばなし」をはじめ、能の歴史をひもとく「能の歴史」、心に残る人々との思い出の随想「出会いと別れ」、能をモチーフとした推理小説「能舞台の目撃者」など、バラエティに富んだ内容を一冊にまとめた好読物。
 四六判・二三頁
 本体二〇〇円十税

能楽書林
 『能楽手帖』
 権藤芳一著
 新書判・三〇二頁
 本体一四〇円十税

観世九阜会 三月定例会

令和三年三月十四日(日) 於 矢来能楽堂

【第一部】 午後十二時三十分開演 (正午開場)

番組

能 **盛久** シテ 遠藤喜久
ワキ 森 常好 大鼓 柿原孝則
太刀取 館田善博 小鼓 成田達志 笛 栗林祐輔
Morihsa 興昇 大日方寛
興昇 梅村昌功
問 能村晶人

後見 河井美紀 新井麻衣子
遠藤和久 小島英明
地謡 鈴木啓吾 永島 充 中森健之介

休憩十分

【第二部】 午後三時開演 (午後二時三十分開場)

番組

西王母 観世喜之
仕舞 源氏供養 中所宜夫 地謡 金子仁智翔
善知鳥 駒瀬直也 弘田裕一 石井寛人

休憩五分

能 **鞍馬天狗** シテ 観世喜正
ワキ 殿田謙吉 大鼓 國川 純 太鼓 観世結子
Kuramadengu 白頭 ワキレ 御厨誠吾 小鼓 大倉源次郎 笛 藤田次郎

(午後一時五十分頃)
狂言 **伊文字** シテ 野村万蔵 アド 野村万之丞
小アド 河野佑紀

後見 野村拳之介

(終演予定 午後二時十五分)

附祝言

後見 坂真太郎 奥川 恒成
永島忠修 長山 耕三
地謡 奥川 恒治 佐久間 二郎 桑田 貴志

(終演予定 午後四時三十分)

《あらすじ》

能 盛久

平家の勇将・主馬判官平盛久は、源平合戦で生捕りとなる。京の都から鎌倉への護送のさなか、日頃信心する清水寺の観世音菩薩に別れの祈りを捧げ鎌倉へ下る。その後従容と処刑を待つ間にも熱心に観音経を唱え続ける盛久に奇跡が起こり、首斬り人の刀が段々に折れ、処刑は中止となる。源頼朝の前に召し出された盛久は、清水の観世音のご利益で恩赦となり颯爽と退出する。前段の東海道を東国へ下る道行文が流麗な観世十郎元雅の作品。

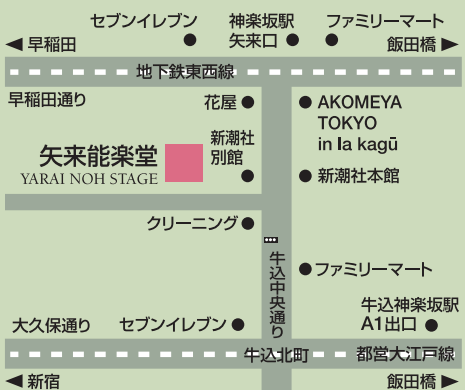
狂言 伊文字

妻を娶ろうと清水の観世音に祈願にやっつ

能 鞍馬天狗

きた男。西門に立つ女が良縁だとお告げが出た。女に住まいを尋ねると二首の和歌を詠じて立ち去ってしまう。和歌中の「伊勢の国が思い出せず、思案の末「歌関」を設けることにする。

春爛漫の洛北の鞍馬寺では、僧侶が勉強修行中の源平両家の子弟を伴い花見に出かける。折からやってきた素性の知れぬ山伏を警戒し引き上げる一行だが、一人残ったのが遮那王(牛若丸)。山伏の正体は鞍馬山の犬天狗で、遮那王は兵法の伝授を受けることとなり、後年平家を滅ぼすほどの智略を授かる。鞍馬の天狗に兵法を教わったとされる牛若丸伝説を能に仕立てた作品。今回も花見稚児役で初舞台を踏む子供達が出演します。



162-0805 東京都新宿区矢来町60
地下鉄東西線神楽坂駅 矢来口より徒歩2分 都営大江戸線牛込神楽坂 A1出口より徒歩5分 駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。